

## 平成 28 年度 第 2 回 土木計画学研究委員会 議事録

日時：平成 28 年 11 月 4 日（金）12：00～12：55

場所：長崎大学

### 配付資料一覧

- 【資料 1】平成 28 年度 第 1 回 土木計画学研究委員会 議事録（案）
- 【資料 2】平成 28 年度 土木計画学研究委員会 名簿
- 【資料 3】研究小委員会設置申請書（3 件）
- 【資料 4】平成 28 年度土木計画学研究委員会 予算執行計画
- 【資料 5】学術小委員会報告
- 【資料 6】第 55 回土木計画学研究発表会（春大会）の準備状況
- 【資料 7】各小委員会及びワークショップの活動報告
- 【資料 8-1】土木計画学 50 周年関連行事の報告
- 【資料 9】土木計画学研究委員会国際セミナーについて（報告）
- 【別紙】土木計画学研究委員会優秀論文賞について

1. 屋井委員長から挨拶があった。
2. 前回委員会の議事録確認が行われ、特に意義なく承認された。
3. 委員の交代について
  - ✓ 【資料 2】に基づき、副委員長に藤原章正先生、学術小副委員長に塚原健一先生、大会運営小副委員長に浜岡秀勝先生が新規委員として承認された。
  - ✓ 荻田委員、山田委員、板倉委員が任期終了となったことが報告された。
4. 研究小委員会関係について
  - ✓ 【資料 3】に基づき、「ITS とインフラ・地域・まちづくり研究小委員会（小委員長 清水哲夫）」と「応用一般均衡分析と交通分析の統合に関する研究小委員会（小委員長 小池淳司）」、「交通サービスの脆弱性評価研究小委員会（小委員長 家田仁）」の新規設置が承認された。
5. 予算の執行計画について
  - ✓ 【資料 4】に基づき、成 28 年度土木計画学研究委員会予算執行計画が報告された。また、50 周年記念事業を実施するにあたり、コンサルタントからの寄付が經常されていることが報告された。

6. 土木学会国際貢献賞，国際活動奨励賞及び国際活動協力賞候補者の推薦について
  - ✓ 羽藤幹事長より，国際貢献賞，国際活動奨励賞および国大活動協力賞について説明され，候補者の選定を委員長と副委員長に一任することで承認された。なお，個別の推薦も適宜受け付けるとのこと。
  
7. 学術小委員会について
  - ✓ 多々納学術小委員長より，【資料 5】に基づき，論文集 D3 特集号の査読状況，特別論文賞の設置，2017 年の大会開催校（春大会：愛媛大学，秋大会：岩手大学）について報告された。また，査読システムに関する改善が要求された。
  - ✓ なお，【別紙】を用いて，計画学委員会優秀論文賞の選考に関する内規について説明された。
  - ✓ 大会運営小委員会の再編とそれに伴い，次回より，議事次第に大会運営小委員会からの報告を含めることが決定した。
  
8. 2016 年度秋大会の実施状況について
  - ✓ 開催校の杉山委員より，実施状況の報告があった。初日午前中時点での報告であったが，ポスターセッション会場が非常に盛況であったとの説明があった。
  
9. 2017 年度春大会の準備状況について
  - ✓ 開催校の吉井委員より，【資料 6】に基づき，春大会の準備状況が報告された。
  - ✓ 実施日は 6 月 10 日～11 日であり，すでに会場を確保していることが報告された。また，前日に別の学会が開催されており，宿泊先の確保について注意が必要であることが報告された。
  
10. 2017 年度秋大会の準備状況について
  - ✓ 開催校の南委員より，秋大会の準備状況として，が報告された。
  - ✓ 岩手大学理工学部キャンパスにて，11 月 3 日～5 日に開催されること，すでに会場を確保していること，岩手県立大学の宇佐美先生にも協力して頂いていることが報告された。
  
11. 研究小委員会からの報告と今後の方針について
  - ✓ 内田委員より，【資料 7】に基づき，各小委員会の活動状況について報告された。活動報告については，CMS 化を進めており，各小委員会の HP 担当に入力を 1 ヶ月前から依頼しているが，本日までに半分程度に留まる。
  - ✓ 羽藤幹事長より，各小委員会の HP 担当者に活動状況の入力を促し，ワンデーセ

ミナーの開催や春大会でのセッション立ち上げなどを実施して活動を充実させることが今後の方針として挙げられた。

- ✓ 多々納学術小委員長より、情報の更新方法を共有することが要請された。

## 12. 幹事会からの報告

### ① 50周年関連について

- ✓ 原委員より、【資料8】に基いて、春大会での若手セッション企画、全国大会での研究討論会、50周年記念シンポジウムについて報告された。
- ✓ これまでの活動でのべ500名程度の参加があり、秋大会にて最終総括報告を実施することが報告された。
- ✓ コンサルタント各社からの寄付に140万円の収入が得られたが、赤字が出ており対処が必要であることが報告された。

### ② 国際セミナーの実施状況について

- ✓ 三島委員より、【資料9】に基いて、上半期における国際セミナーの実施状況が報告された。
- ✓ これまでに通算136回実施されており、下半期については確認を行っていることが報告された。

### ③ 国際センター・出版委員会・ワンデーセミナーについて

- ✓ 平田委員より、ワンデーセミナーの活潑な実施が要請された。
- ✓ 土木計画学ハンドブックと連携した出版記念イベントの京都での開催可能性が示された。

## 13. その他

- ✓ 屋井委員長より、国際連携のさらなる拡充が必要であることが示され、アジア交通学会以外にも各委員がコミットしているものがあれば情報共有してほしいとの依頼があった。これに対して、多々納学術小委員長より国際総合防災学会(岡田先生)との連携の可能性が示された。

## 14. 閉会挨拶

- ✓ 藤原新副委員長より挨拶があった。